

「日本の病院を取り巻く環境変化と事業化検討」

ヘルスケア・プロジェクト 山中 淳一

◆「日本の病院を取り巻く環境変化」を取り上げ、新事業開発を考える

ポイント1；日本の病院は多様な環境変化にさらされ、転換点にある

ポイント2；病院中心 → 病院もパートナー という見方をしてみる

今回は、日本における病院を取り巻く環境変化を取り上げ、ビジネスの機会について考えてみたいと思います。また、ビジネス検討の入口での落とし穴についてもふれたいと思います。

日本の病院は、多様な環境変化の中にいます。内憂(人材面の変化)、外患(政策、財政、顧客、その他インフラ)で苦しんでいるという状況です。下図は、病院側で捉えている環境変化から、いくつかの観点を取り上げたものです。

事業化を検討する際に、環境変化について検討されるケースが多いと思いますが、例えば、「Customer's Customer 様変わり」から、1つ例を取り上げて補足すると、病院側では、単なる「高齢化」を話題にしているのではなく、「**高齢化の当たり前化**」状態について議論をしています。「高齢化」1つを取り上げても構いますので、その他の観点についても、自社の目線とは多少異なる角度での議論がされているとおもった方が良いでしょう。ヘルスケアに関する講演会は、全国津々浦々で高頻度で開催されていますので、そういった場に足を運んで、自社の認識との違いを補正しておくことが環境認識上は重要となります。

ただ、いずれにせよ、病院側は転換点にあることに変わりはありません。2018年という医療介護制度の同時改訂へ向けて改革を進めており、様々なビジネスチャンスが生まれています。**病院としての新事業創出**が経営課題ともなっており、単なるインフラ・製品供給とは異なる、**病院と一体となった新事業開発**のチャンスもあります。

《日本の病院を取り巻く今、これからの環境変化と病院側の現在の動き》

政策の向かい風(強風)

お金回りのよどみ

- 国の保健財政の逼迫化
- 自治体財政の悪化
- 患者側の医療費負担増

- 消費税 増税
- 保険点数の改変
- 介護保険制度の見直し

Customer's Customer 様変わり

- **高齢化が当たり前**
- 重点治療対象の様変わり
- 予防改善要望がますます強く

新たな医療サービスの形を模索

- 病床機能の見直し・再定義
- 医師を選ばない時代の医療サービスの形づくり
- 2018年以降の医療サービスへの準備

医療機器・インフラの進化

- 訪問診療向け機器充実化
- 使用年数の短期化
- 小型化・低額化&高度化・高額化

施設 & 在宅 の連結

- 病院から在宅へ、の政策対応
- 訪韓ステーション充実化
- 地域主導の地域包括ケアにおけるリーディング

病院側の現在の動き

事業構造の抜本改革

- 強い診療科目へのリソース集中
- 新たな需要への対応強化 (例、認知症など)
- **病院としての新事業の創出**

…環境変化

人材の質・量問題の同時発生

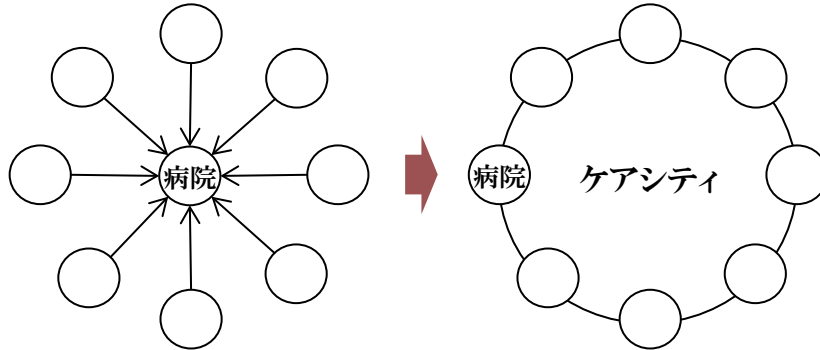
- 就労者確保が困難に
- パートタイム従業員の増加
- 医師の高齢化

「日本の病院を取り巻く環境変化と事業化検討」

ヘルスケア・プロジェクト 山中 淳一

◆病院と一体となった新事業開発

将来の病院像を考えた場合、例えば“ケアシティ”という見方があります。図でイメージすると、



といった姿が議論されています。スーパーマーケット、コーヒーショップが病院内に入るケースも増えていますが、それをもう一步進めて、シティという構想で進める動きもあります。そこには、飲食だけでなく、学校や塾、アミューズメントなどの要素も加わっています。シティとなれば、移動手段も入ってきますし、住宅要素も入ってくるので、事業構想の幅も広がってきます。

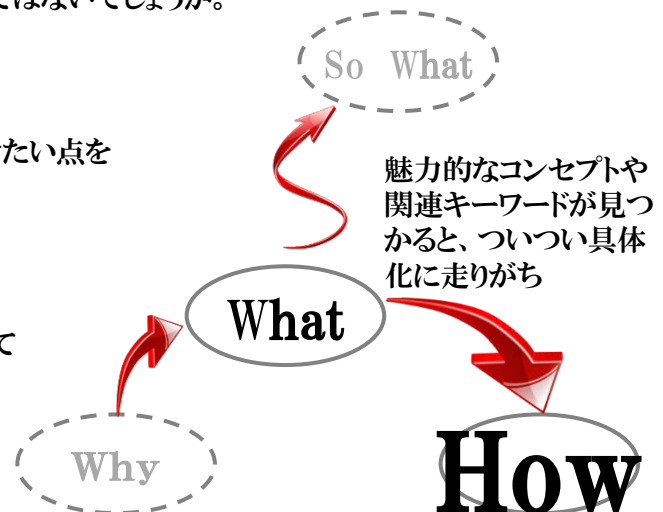
これは、ほんの一例ですが、ケア“シティ”の中での自社の役割を考えると、これまでと異なるヘルスケア産業への関わり方が見えてくるのではないのでしょうか。

◆ビジネス検討の入口での落とし穴

事業構想という点において、気をつけておきたい点を1つ補足しておきます。

新たな事業について検討をしている中で、面白い“what”に出会った際、すぐ“How”に流れてしまうケースを多く目にします。別の言い方をすれば、目先のアイデアにとびついてしまうケースです。

why(現状分析)、so what(大義)に目を向けて、事業化構想を進めていくと、構想内容に深みがでできます。



今回は、日本における病院を取り巻く環境変化を取り上げ、ビジネスの機会について考えました。病院はモノやサービスを収める相手ではなく、一緒に事業を創っていくパートナーである、という見方をすると、従来の自社の強みを活かす余地も広がりますので、検討してみても面白いかと思います。

【お問合せ】株式会社日本能率協会コンサルティング

ヘルスケア・プロジェクト 山中 淳一

URL:<http://www.jmac.co.jp>

TEL.03-3434-0982 mail:healthcare_jmac@jmac.co.jp

